

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		S46~	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり
	小項目	施策	01 観光
事務事業名		06	備前焼振興事業
根拠法令・例規等		問	担当課(室) 商工観光課
職・氏名		職	観光係長 山台 智子
電話		電	64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光関係団体、観光客など
目的(何のために)	全国に誇れる備前焼を観光看板として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
行政活動(どのような方法で)	備前焼の紹介と観光情報センター機能を備えた備前焼伝統産業会館の管理運営。備前焼の振興と観光客誘致のための備前焼まつり等への補助。伝統的工艺品産業振興協会への加盟(負担金)。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼伝統産業会館等の利用者増

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	伝統産業会館入館者	人	33,483	30,771	30,248
	陶芸美術館入館者	人	18,602	17,094	16,805
	まつり来場者	人	150,000	160,000	150,000
	備前焼まつり補助金	千円	2,000	2,000	2,000
	備前焼陶友会補助金	千円	405	405	324

実績	事業費		千円	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	直接事業費			4,121	4,486	4,166
	必要人員	人件費		0.32人	0.34人	0.51人
	事業費	費計		6,520	6,888	8,491
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
		繰	入金債			
市		他()				
一	般財源		6,520	6,888	8,491	
受	益者負担比率	%				

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	会館等入館者	説明			
	結果指標量	人	52,085	47,865	47,053
	対前年比	%	-	91.9%	98.3%
	活動コスト	円	6,520,000	6,888,000	8,491,000
	単位当たりコスト		125	144	180
結果指標②	結果指標量	説明			
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト				

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
備前焼伝統産業会館等の利用者	目標値(A)	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績値(B)	52,085	47,865	47,053	到達目標年度
	達成率(B/A)	74.41%	68.38%	67.22%	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
観光動態調査による推計					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	一千年の歴史を誇る備前焼は、我が国を代表する伝統工芸品として時代を超えて人々に愛されており、本市の最大の観光資源である。この観光資源を活かすためにも、施設整備等を図り継続的に支援することが必要である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 市の最大の観光資源である備前焼の振興は、市の活性化のためにも必要不可欠である。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 施設管理においては、効率性を重視し適正管理ができるようにするべきである。また、その一方で観光客のニーズの多様性に対応できるよう整備をする必要もある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 事業効果を考察しながら施設の充実を図っていく必要がある。また、備前焼の普及という観点からすると、イベントによるアピールの事業効果は高く、PR等に更に工夫を重ねる必要がある。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況		50,000		70,000	
目標値	結果指標量①	結果指標量②		成果指標量	
状況	○	拡充	現状継続	見直し	縮小
説明	多様化する顧客のニーズに対応するため、可能な限り施設整備を行うことを検討する必要がある。				

総合評価		評価区分<A~E>	C
わが国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は高いと思われる。今後は、顧客の満足度を研究し、ニーズにあった方向性を的確に捉える必要がある。			

平成22年度以降の方向性・内容		70,000	
方向性	○	拡充	現状継続
説明	インターネット等を活用したPRを積極的に行うなど、イベントにあわせ様々な手法により備前焼の振興を図る必要がある。		
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期
	効率性	観光客の多様化するニーズを敏感につかむ。	随時
			観光客の増加